

☆ ラグーナ蒲郡の今後

2月17日、愛知県、蒲郡市、トヨタ自動車(株)：以下主要株主：はラグーナ蒲郡の今後の展開について発表しました。その概略をお伝えします。

1、現況

平成3年11月に第三セクターとして蒲郡海洋開発(株)：以下ラグーナ蒲郡：が設立されました。今年度の集客見込みは325万人で営業黒字となる見込みです。集客累計も3,500万人を超えます。

しかし、開発費の負担、分譲地売却の遅れ、累積赤字などがあり経営の抜本的見直しが必要となっております。

2、主旨

永続的に魅力ある施設として発展させていくために、運営を経験豊富な事業者にお任せし、主要株主でラグーナ蒲郡に支援することを検討してまいりました。

3、新事業者との協議

検討を進める中、(株)エイチ・アイ・エス社の名前が浮上し、具体的な協議を開始することになりました。

4、未利用地の開発

主要株主間の連携の下、新たな視点から開発を検討してまいります。

- 5、(株)エイチ・アイ・エス
- ・ 資本金 68億8千2百万円
- ・ 従業員 11,776人
- ・ 事業 旅行業など

(補足) 九州の第三セクター、ハウステンボスを再建させた実績があります。



○経緯の概要

平成3年11月、ラグーナ蒲郡が設立されました。

平成13年4月、ラグナ・マリーナがオープンしました。

平成14年4月にラグナシアが、5月にフェスティバルマーケットがオープンしました。

平成15年4月にタラソテラピーがオープンしました。

平成17年度ラグーナ蒲郡決算で減損会計の導入により約195億円の債務超過となりました。

平成18年6月、蒲郡市からラグーナ蒲郡へ海洋多目的広場を物納決定しました。概要は約4万5千平方メートルで評価額18億1,200万円です。同時に平成18年度から平成27年度までの10年間にわたり、年1億円の出資を決定しました。

本年(平成26)年2月、蒲郡市はラグーナ蒲郡を生かした新たなまちづくり構想(案)を議会に提出しました。

○今後の方向性

本年3月、蒲郡市は新産業創出のためヘルスケア計画を策定しました。

私はこの蒲郡市ヘルスケア計画を基本計画とし、実施計画の策定を求めています。

実施区域としてラグーナ蒲郡の未利用地を充てるべきと考えます。

本年1月、UAEドバイのロイヤル・エミレーツ・グループ(エミレーツ航空の関連会社)

の執行役員を蒲郡市に招きました。ラグーナ蒲郡と医療機器メーカーの視察をし、とても興味を持っていただきました。特に再生医療に関心を寄せていました。

地方の小さな自治体であっても、海外に活路を見出すということを積極的に行うべきではないでしょうか。ヘルスケア計画+ラグーナ蒲郡+エミレーツが成り立たないかと、淡い期待を抱いています。

☆市民病院、黒字化へ

平成25年度決算の予想ですが、市民病院は2億6千万円以上の黒字になりそうです。

これは企業会計の改定に伴い、特別利益を計上したからです。もちろん、システムの変更や節約など、市民病院の努力もあります。

今後も大切な市民のよりどころとして、愛し続けてくださいますようお願いいたします。



蒲郡市民病院 黒字化へ

☆競艇場会計制度変更

蒲郡競艇場は4月末に新装オープンします。

これに合わせ、これまで特別会計(ある意味どんぶり勘定)であったものを企業会計にします。営業収支や資産の状況が明確になり、これまで以上にファンサービスができ、結果として市民の利益につながります。地元の皆さまにはご配慮、ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。



蒲郡競艇場新スタンド(イメージ)

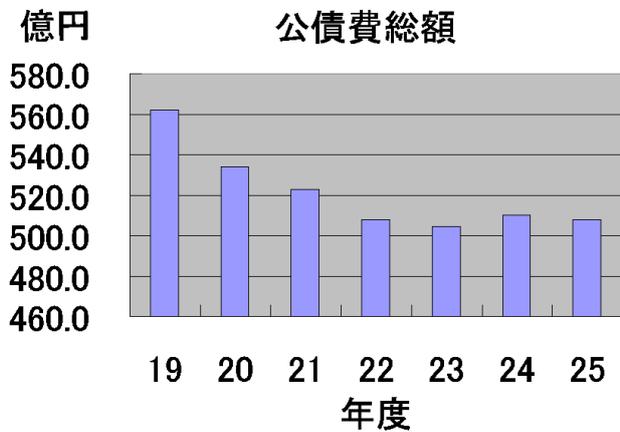
名四国同事務所提供

蒲郡インターチェンジ付近



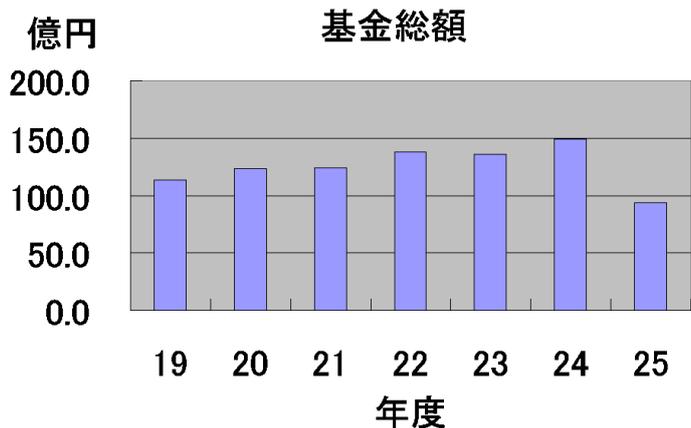
☆ 国道23号バイパス開通
 3月23日、国道23号バイパスの開通式を行いました。
 幸田町芦谷インターから蒲郡インターまでの5・9 Km区間ですが、誰もが待ち望んでいた道路です。
 途中の蒲郡西インター周辺は企業用地開発を目指しております。
 蒲郡発展のチャンスをつかんだと思っています。

- ☆ 平成26年度予算
 ○ 主要事業
- ・ 市政60周年記念事業
 - ・ 庁舎耐震補強事業
 - ・ 企業再投資促進補助事業
 - ・ 防犯カメラ設置事業
 - ・ コンビニ・レジット収納
 - ・ 精神障害者医療費助成拡充
 - ・ 蒲郡いきいき市民健康づくり
 - ・ 500円ワンコインがん検診
 - ・ 西迫西地区ほ場整備事業
 - ・ 新規漁業就業者支援事業
 - ・ 竹島水族館アクアランド改修
 - ・ 道路ストック総点検事業
 - ・ 35m級消防はしご車購入
 - ・ 西部小、中部中プール改修
 - ・ 公共施設の耐震診断事業
 - ・ 脱メタバ生活習慣改善推進
 - ・ 西部送水管耐震化事業
 - ・ 新競艇場ファンサービス展開
- 予算概要（四捨五入）
- ・ 予算総額 1,250億円
 - ・ 一般会計 260億円
 - ・ 国民健康保険 86億円
 - ・ 介護保険 57億円
 - ・ 後期高齢者医療 17億円



- ・ 土地区画整理 18億円
 - ・ 公共用地対策 8千万円
 - ・ 下水道 21億円
 - ・ 三谷町財産区2, 7千万円
 - ・ 西浦町財産区1, 2千万円
 - ・ 競艇場 659億円
 - ・ 水道 30億円
 - ・ 市民病院 102億円
- 公債費残高
- ・ 総額 507億円
- 基金残高
- ・ 総額 94億円

※寸評
 公債費の状況は平成23年までは減らし続けてきました。しかし、この2年ほどは上昇傾向にあり、少し心配されます。
 競艇場施設基金は税金を貯めたものではありませんが、施設改善に充てるため皆減することで、基金総額は3分の2になります。



先の長い話ですが、今後 50 年間で公共施設（道路や箱物など）の建て替えに 2,500 億円必要とされます。

道路の開通や港の完成で目の前にチャンスが広がっています。

発展するまちづくりと安定したまちづくりとは、相反するものを内包しています。

今、混乱の火種が起きつつあると言えます。

したがって、10 年毎の総合計画の下に、財政健全化チャレンジ計画を 3 年毎に策定する必要があります。